日本共産党
千田美津子県議の
県政報告
NO.10

# 県内の待機児童は１２００人超、認可保育園を増設し、安心して預けられる県政に！

県議会予算審査特別委員会が３月５日から１８日まで開催され、千田美津子議員は日本共産党を代表し、県民要望実現のために総括質議に立ち奮闘しました。

## 知事は、県民が安心して医療にかかれるように国に医師の定数増を働き掛けるべきでは

### 医師確保

**医師不足解消のため、医師数をOECD並みに増やし、医学部定数を1・5倍化に**

千田議員は、厚生労働省が発表した「医師偏在指標」において岩手県が全国最下位であったことから、OECD諸国に比べて断トツに少ない医師数をOECD並みに約11万人程度増やす必要があり、そのためにも国の責任で医学部定員を1・5倍化すべきと考えるがどうかと質問。

**国は医師不足と偏在の解消のため、国を挙げて取り組むべき**

これに対し、達増知事は「医師不足と偏在の解消に向けて、地域医療のあるべき姿を実現するためにも、国を挙げて根本的な解決に向けて取組む必要がある」と述べ、さらに「医師不足と偏在を解消するためには、医師の絶対数の確保が必要であり医学部の入学定員の増員は有効な解決手段の一つと考えており、引き続き国に対して強く働き掛けていく」と述べました。

２月９日Ｚホールで開催の「医療を考える講演会＆トークライブ」には150人が参加

**医療を考えるパパママの会等の活動**

千田議員は、「奥州市では『医療を考えるパパママの会』を立ちあげ医師確保に向けた市民運動がスタートしたが、知事は県民のこのような取組をどう受け止め、県民にどのようなメッセージを発して行くか」と質問。達増知事は、「地域医療を守るためには、地域の皆さんの努力と工夫が非常に効果があり、地域でそうした住民の皆さんの地域医療を守るための運動が起きている事は非常に心強く感じます。県としてもそうした取組と連携しながら医師不足と偏在に取り組む」と述べました。

### 保育

**県内の保育所待機児童数は隠れ待機児童と合わせ1204人**

千田議員は、保育所の待機児童の現状と改善策を質問。これに対し、千葉副知事は、「厚生労働省が実施した保育所等利用待機児童数調査の速報値では、昨年の10月1日現在、隠れ待機児童数は698人、待機児童数506人と合わせ1204人となっている」と述べました。

さらに千田議員は、国の幼児教育・保育の無償化では、市町村が公立施設の負担を全額持ち出すことになり、民営化や職員の非正規化につながる恐れがあるとして、「親が安心して子どもを預けられるよう、認可保育所の増設が必要だ」と指摘し、対応を求めました。

### メガソーラー

**胆沢川のメガソーラー事業**
**←←多大な影響を及ぼすことになり大変遺憾だ（知事）**

千田議員は、一級河川である胆沢川に民間のメガソーラー事業が進められているが、この場所が県の調査不足により河川区域だったことが判明し、地権者や関係者に与えた影響は多大だが、今回の事態について知事はどう受け止めているかと質問。達増知事は、「河川区域を誤認した事について、河川を管理する上で当然把握しておくべき所を充分に確認しないまま事業者に誤った情報を提供していたもので、事業者や地域の方々などに多大な影響を及ぼすことになり、大変遺憾に受け止めている」と陳謝しました。

さらに保副知事は、「県としては、直ちに事業者に河川法に基づく許可手続きが必要である事を連絡し、陳謝をした。」等と述べました。千田議員は、「メガソーラーについては、県内でも様々な問題が起きており、県としてきちんと対応するためにも条例化が必要だ」と指摘。

達増知事は、「県民生活や県土を守っていくために、県として必要な制度の検討を進めていきたい」と述べました。

メガソーラー事業についての地元説明会 1/17　水沢佐倉河

### 防災体制

**急がれる要配慮者避難確保計画策定**
**奥州市の策定率は21・4%**

千田議員は、平成29年6月の水防法と土砂災害防止法の改正を受けて、避難確保計画の作成と訓練が義務化されたが、県内の策定率は2月時点で5割程度となっており、策定率を引き上げるための手立てを取るべきだと質問。これに対し、佐藤総務部長は、「施設数の多少によって策定率に差があり、特に策定率の低い市町村に対しては、個別に働き掛けていくことが必要と考えている」等と述べました。千田議員は、「国土交通省は、２０２１年までに策定率を１００％とし、逃げ遅れによる人的被害ゼロの実現を目指すとしているが、計画策定を進めると同時に、いざという時に命を守れる体制となっているかが重要であり、訓練の積み重ねで充分な体制に出来るよう、出来れば来年度中に全施設が策定できるように援助すべきだ」と指摘しました。佐藤総務部長は、「各市町村では、今年度中の策定を促しているところもあり、きめ細かく対応して行きたい」と述べました。

**管内市町の避難確保計画策定状況**

| | 計画作成対象施設 | 計画策定済 | 策定率 |
|---|---|---|---|
| 奥州市 | ９８箇所 | ２１箇所 | 21.4% |
| 金ヶ崎町 | ９箇所 | ４箇所 | 44.4% |

発行：日本共産党岩手県議団事務局
○岩手県議会・日本共産党議員控室　Tel 019-629-6050
〒020-0023 盛岡市内丸１０－１

○千田美津子県議連絡所（日本共産党奥州市委員会）
Tel 0197-24-2021、Ｆａｘ0197-24-2049
〒023-0056 奥州市水沢字久田６２

Wondershare PDFelement